

高校地理プリント（過去問類似）

地誌（世界と日本） No.8

名前

得点

/10

問1 ユーラシア大陸の内陸部に広がる乾燥地帯では、樹木が育ちにくいいため、人々は家畜を移動させながら飼育する生業を営んできた。このような地域に暮らす人々が、飼育する家畜の乳を原料とし、乳酸菌や酵母によって発酵させて作る伝統的な微アルコール性の飲料を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 酥油茶 2. 紹興酒 3. 馬乳酒 4. 乳粥

問2 ニュージーランドは、かつての宗主国であるイギリスと比較して起伏が激しく、標高の高い山地が多く分布している。これは、ニュージーランドが位置するプレート境界の活動的な造山帯の影響によるものである。この造山帯の名称を何というか。

（2024年 全国公立入試 類似）

1. 安定陸塊 2. 環太平洋造山帯 3. 古期造山帯 4. 新期造山帯

問3 中国の東北地方において、かつて大豆とともに盛んに栽培され、主食や輸出用として重要な役割を果たしていたが、近年の農業技術の進歩や需要の変化に伴い、トウモロコシや米への転換が進んだイネ科の穀物は何か。 （2011年 全国公立入試 類似）

1. ジャガイモ 2. トウモロコシ 3. コウリヤン 4. サツマイモ

問4 第一次世界大戦後のオスマン帝国の崩壊とトルコ共和国の建国に際し、それまでの首都であったイスタンブールに代わって、アナトリア高原の中央部に位置し、新たに首都として定められた同国第2の都市はどこか。 （2012年 全国公立入試 類似）

1. アンカラ 2. アンマン 3. マナーマ 4. テヘラン

問5 青森県黒石市などの豪雪地帯にみられる、冬の積雪や夏の強い日差しを避けるために、道路に面した建物の軒先からひさしを長く突き出して造られた、木造のアーケード状の通路を何というか。 （2006年 全国公立入試 類似）

1. こうし 2. がんぎ 3. うだつ 4. こみせ

問6 中国では、1970年代末から市場経済の導入や外資の受け入れを推進する政策がとられた。これにより、外資が優先的に投入された東部の沿岸部で急速な工業化が達成され、人口1人当たり域内総生産額が沿岸部で高く内陸部で低いという顕著な地域差が生じることとなった。この一連の経済政策の総称として最も適当なものを答えよ。 （2005年 全国公立入試 類似）

1. 一帯一路 2. 改革開放 3. 人民公社 4. 経済特区

問7 東南アジアに位置するある国は、熱帯モンスーン気候のもとで豊かな樹木に覆われており、国土の約6割を森林が占めている。また、大河川の流域を中心に稲作が盛んであり、耕地が国土の約2割を占める。この特徴に該当する国はどこか。 （2010年 全国公立入試 類似）

1. フィリピン 2. ミャンマー 3. マレーシア 4. カンボジア

問8 ドイツにおいて、石炭資源とライン川の水運を背景に重化学工業地域として発展し、現在でも国内の人口上位都市が集中している、北西部に位置する地域はどこか。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. ルール地方 2. リヨン地方 3. サール地方 4. ドネツ地方

問9 かつて日本の農村周辺に広がり、燃料となる薪や炭の採取、農業用の堆肥となる落ち葉の収集などに利用されていたが、高度経済成長期の燃料転換や化学肥料の普及によって管理が放棄され、近年では市民ボランティアによる草刈りなどの保全活動が行われている、集落を取り巻く二次林や農地などが一体となった地域環境を何と呼ぶか。 （2024年 全国公立入試 類似）

1. 谷戸 2. 里山 3. 奥山 4. 里海

問10 南アメリカ南部に位置するある国は、広大な温帯草原での大規模な農牧業を背景に、早くから開発が進んだ歴史を持つ。この国は、1人当たりGDP（GNI）が約1万ドル前後である一方、都市人口率が80%を超える高い水準にあるという特徴を持つ。この国はどこか。 （2016年 全国公立入試 類似）

1. ベネズエラ 2. アルゼンチン 3. パラグアイ 4. コロンビア

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 3 馬乳酒	ユーラシア大陸中央部の乾燥した草原地帯（中央アジアやモンゴル高原など）では、水分や栄養分を補給するために、馬の乳を発酵させた飲料が伝統的に作られてきた。これはアルコール度数が低く、ビタミンなどの栄養素が豊富に含まれており、遊牧生活における重要な栄養源となっている。一方、アラビア半島などのオアシス農業地域や地中海沿岸などでは、このような飲料を日常的にする文化は一般的ではない。
問2	答え 2 環太平洋造山帯	ニュージーランドは新期造山帯である環太平洋造山帯に位置するため、古期造山帯や安定陸塊が広がるイギリスに比べて起伏が激しく、標高の高い山地や丘陵地が多く分布する。一方、イギリスは安定陸塊や古期造山帯で構成されており、比較的平坦な地形が広がっている。
問3	答え 3 コウリヤン	中国東北地方（旧満州地域）では、かつて主食や輸出用としてコウリヤンや大豆が盛んに栽培されていた。しかし、農業技術の進歩や品種改良、食生活の変化や飼料需要の増加に伴い、現在ではトウモロコシや米の生産が中心となっている。
問4	答え 1 アンカラ	トルコ共和国の初代大統領ケマル・アタテュルクは、オスマン帝国時代の旧首都イスタンブールから、アナトリア高原の中央部に位置するアンカラへと首都を移転した。アンカラは現在、トルコ第2の人口規模を持つ政治の中心地となっている。
問5	答え 4 こみせ	青森県黒石市の中町などに残る「こみせ（小見世）」は、豪雪地帯において冬の積雪時の歩行空間を確保し、夏の強い日差しを遮るために設けられた、私有地でありながら公衆の通行に供される木造のアーケード状の通路である。このような地域特有の気候風土に対応した歴史的建造物が、伝統的建造物群保存地区として保護されている。新潟県などにみられる「雁木（がんぎ）」と同様の機能を持つ。
問6	答え 2 改革開放	1978年の第11期3中全会以降、中国は従来の計画経済から社会主義市場経済への移行を目指し、対外的な門戸を開く政策を推進した。これが「改革開放」である。この政策のもと、シェンチェン（深圳）やアモイ（廈門）などの東部沿岸部に経済特区が設置され、安価で豊富な労働力を背景に外資や先進技術が導入された。その結果、沿岸部を中心に急速な経済成長が遂げられた一方、内陸部との間で人口1人当たり域内総生産額などの経済格差が拡大することとなった。
問7	答え 4 カンボジア	熱帯モンスーン気候下にあり、メコン川流域などの平野部で稲作を中心とする耕地が約2割を占め、それ以外の地域では豊かな森林が約6割を占めるという土地利用の特徴を持つ。他の東南アジア諸国と比較しても、森林と耕地のバランスにこの気候と地形の特徴がよく表れている。
問8	答え 1 ルール地方	ドイツは多極分散型の国土構造を持つが、国内の人口上位都市は、かつて石炭資源と水運を背景に重化学工業が発達した北西部のルール地方に多く集まっている。この地域は現在、産業の構造転換を進め、ハイテク産業やサービス業への移行を図っている。
問9	答え 2 里山	かつての農村周辺に位置する二次林や農地、ため池などが一体となった環境は、薪炭林や堆肥の原料供給地として人為的に管理・維持されてきた。しかし、1960年代以降の燃料転換や化学肥料の普及により、これらの資源としての価値が低下し、放置されるようになった。近年では、生物多様性の保全や景観維持の観点から、市民参加による草刈りや間伐などの保全活動が各地で展開されている。
問10	答え 2 アルゼンチン	南アメリカ南部に位置し、広大なパンパを擁するこの国は、小麦や牛肉の輸出などを背景に早くから開発が進んだ。そのため、発展途上国の中では極めて高い都市人口率（90%近く）を示しており、1人当たりGDP（GNI）も約1万ドル前後の水準にある。マレーシア（東南アジア）やナイジェリア（アフリカ）に比べて都市人口率が高く、イギリスなどのヨーロッパの先進国に比べると1人当たりGDPが低いという特徴から判断できる。